

# 平成 30 年度広島市まちづくり市民交流プラザ運営委員会 第 2 回運営委員会 会議録

日 時 平成 30 年 10 月 5 日(金) 18 時 30 分～20 時 30 分

場 所 合人社ウエディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)南棟 4 階協議室

出席者 (委 員) 柿本委員長、脇谷委員、阿部委員、弘中委員  
(プラザ) 谷川館長、中森主任

議事及び会議要旨(以下)

## 議事 1 平成 30 年度事業進捗状況について

事務局から、平成 30 年度事業進捗状況について報告され、意見が交わされた。

- ・満足度は高い。80 パーセントを超えることはなかなか難しいと思う。
- 講座関係の満足度の目標値は 80 パーセントに設定しているので、それをクリアできている。
- ・今回発行された「らしっく」は、以前よりも編集や構成が変わったように思う。
- ・面白い特集が組まれており読んでいくと面白いのだが、文字が多く、読むのが大変な印象を与えるため、写真などを多めにして読み手が読みやすい工夫もあるとよい。
- 今年度は「歴史」をテーマに組んでいるが、読者の反応も良いように思う。掲載したい情報が多すぎて、文字が詰めすぎになっているかもしれないので、次号については写真などを多くして視覚で楽しめるよう工夫していきたい。
- ・託児サービス 1 件というのは PR が足りないのか、希望する人がいないのか。
- 現状では託児を引き受けてくれる団体が昼間しか対応できないため、パソコン講座のうち昼間開催のものに対し託児サービスを提供している。希望があれば他の講座でも提供できるが、プラザの講座は夜開催されるものが多いため、託児サービス希望が増加しない現状である。
- ・良い制度だと思うのでもっと託児サービスを PR していただきたい。
- ・ひろしま情報 a ネットの到着情報(行事予定やお知らせ)は、開催時期等に関係なく公民館行事などがたくさん並ぶが、1 ヶ月以内に開催される行事などが見られるようになると良い。
- 広島市が管理しているので要望として伝えておく。
- ・人材バンク交流会の参加者が昨年度 30 人、今年度 50 人と増加しているが、何か工夫されたのか
- 特に大きな変更や工夫はないが、時期などが良かったのではないかとと思われる。
- ・新しい登録者が多い場合は、様子を見るために交流会にたくさん参加される場合がある。
- 昨年度から今年度のはじめにかけて、新規登録者が多くなっている印象はある。特に退職された方などが多くなっている。
- ・人材バンクに登録される方はどのようにしてこの制度を知っているのか。
- はじめは何かボランティア活動がしたいとあってこられる方が多く、その際に人材バンクのことを紹介すると登録していかれる。他の施設から紹介されてやってくる方もいる。
- ・他の施設でも人材バンクの紹介をしているのか。
- プラザと広島市社会福祉協議会、ひろしま NPO センター、ひろしま平和文化センターでボランティア関係団体会議等を開催し連携しており、それぞれにボランティアの問い合わせがあれば、適切な窓口へつなぐことができる。また公民館などで問い合わせがあった際もプラザに連絡があ

る場合がある。

- 人材バンクの新規登録者が増えている反面、個人事業主の方や営利の絡んだ登録希望者も増えてきており、その登録の判断が難しくなっている。(個人事業主の方でもそのノウハウを使ってボランティア活動される場合は登録できる。)
- ・最初はボランティアで行って、その後有料の教室に勧誘するという話は聞いたことがある。無料の体験教室を受講して、よかったら有料教室でというパターン。
- 登録時の面談や活動アンケートなどでよく確認していく。

## 議事 2 平成30年度利用状況について

### 事務局から、平成30年度利用状況、広島市による指定管理者への実地・ヒアリング調査について報告があり、意見が交わされた。

- 上半期は4月に利用者数が少なく、5月から徐々に回復傾向であったが、7月の豪雨災害により、また下降してしまった。
- ・4月は主催事業の参加者が少なくなっているが、事業が少なかったからなのか。
- 4月は年度初めであるため基本的に事業数は少ない傾向にある。事業によっては1回あたりの参加者が多く、月の参加者数が増加する場合もあるが、年度毎に開催する事業は違うため判断が難しい。
- 豪雨災害のような大きな出来事があれば原因もはっきりするが、毎月の上下は年度毎に状況が違うため原因はわかりにくい。
- プラザの運営には利用料収入が当てられているが、今回の災害で64件キャンセル、38万の返金があった。その後も台風が連続してきたこともあり、利用料収入にも様々な影響が出ている。
- 災害の影響でいえば、台風の影響も大きく、何件か主催事業も中止になってしまった。
- ・一般の行事でも、7月の災害以後、早い段階での中止などが多くなっている。
- 10月以降はできる限り回復するよう努力していく。
- ・作業室は印刷などが安くできてよい施設だと思うが、利用者が少し減ってきている。周辺に安く使いやすいものなどが増えたのかもしれない。
- 周辺に同じような作業ができる業者なども増えている。プラザの方が値段は安いと思うが、より使いやすいサービスを考えていかないといけないのかもしれない。
- ・広島市の評価については、全体的に良い評価でよかった。利用者の満足度が高いのは良い。
- ・利用者数がやはり伸びにくいのか。
- 利用者数については目標値が右肩上がりになっているが、現実には横ばい状態であり、なかなか達成が難しい。
- ・この施設はボランティア総合支援センターが元になっているが、プラザになっていく過程で施設の管理、貸し館業務などが入ってきて複雑になってきている。利用者数や稼働率などを追いかけることも必要だが、もう一度このプラザが何のために作られたのか、その理念に立ち返って考えてみる必要があると思う。
- ・施設を運営していくうえで、そこで働く職員の休暇や就業時間なども重要で、それらが充実して

こそ、きちんとした施設運営ができると思う。このプラザは公民館などとはちがいで、週1回の休館日もなく、夜中の22時まで開館しており、職員にとっても大変な運営をしていると思う。働く人がいきいきと仕事することが大事である。

○休館日の件などは、指定管理制度が導入された際に、他の候補との差をつけるということもあり、提案したものであるが、職員の休暇等の問題だけでなく、休館日がないことで施設の修繕や維持補修についても限界がきている。

- ・修繕などもできる日程や時間が限られると値段が高くなったりする。
- ・次回の指定管理の公募の際にはそのあたりも熟慮していただきたい。
- ・新聞の配架をすることとあるが、何のためにしなくてはならないのか。プラザには目的があり、市役所にあるような市民ロビーではない。
- ・新聞を読むためにロビーに人がくることが施設の目的にかなうのか。また目的もなく長居する人も出てくるのではないか。
- ・折紙などで飾りつけて季節感を出しており、ロビーに季節感があるのはとても良いと思う。

### **議事3 平成30年度事業計画について**

**事務局から、まちづくり市民交流フェスタ進捗状況について説明があり、意見が交わされた。**

○2回目の実行委員会も無事に終わり、パンフレットも出来上がり、あとは本番に向けて準備していく段階にきている。

○7月の豪雨災害の影響で参加団体が少ない。途中で取りやめる団体も出てきている。

- ・白い杖SOSという団体は何をされるのか。

○目の不自由な方もつ白い杖を使ったSOSサインの普及を目的にされており、ステージでそのサインの説明や実演をされたり、展示で紹介したりされている。

- ・豪雨災害があったがそれについては何か動きはあるか。

○団体としては防災士の方々による災害時の対応についての啓発がある。また施設としては豪雨災害についての募金を総合受付で行ったり、災害ボランティアについてのパンフレットを配布したりする予定である。

#### **【次回の運営委員会】**

平成30年3月1日（18時30分～20時30分）予定

**閉会**